

「(仮称)いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030」 骨子(案)

令和6(2024)年度から令和12(2030)年度までを計画期間とする「(仮称)いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030(以下、「ビジョン」という)」を策定し、これからの区内におけるボランティア活動を担う実施主体が、活動の多様性を認め合いながら協働し、地域課題の解決に向けて活動できる環境の整備を図る。

1 計画の構成

(1) 第1章 ビジョンの作成にあたって

板橋区は、ボランティア活動推進条例を定め、ボランティア活動の自主性及び主体性を損なわないよう配慮するとともに、知識の普及、意識啓発及び活動環境の整備を区の責務としたほか、いたばし総合ボランティアセンター(以下、「ボラセン」という。)を設置し、ボランティア活動の推進と円滑化を図ってきた。

これからの区内におけるボランティア活動を担う実施主体が、活動の多様性を認め合いながら協働し、地域課題の解決に向けて活動できる環境の整備を図るため、現行の基本構想を見直し、新たに「ビジョン」を策定するための基本的な事項(考え方)となる、背景と目的、計画期間、社会の動向、これまでの成果や課題などを記載する。

① 策定の背景と目的

ボラセンの設置にあたり策定した現基本構想は、策定後18年を経過し、その間、東日本大震災の発生、新型コロナウイルスの感染拡大による生活様式の変化などにより新たに連携すべき分野が生じ、活動する団体が増える等、ボラセンを取り巻く環境は著しく変化している。

こうした急速な社会情勢の変化やSDGs未来都市に区が選定されるなどの時勢に対応しつつ、より多くの区民がボランティア活動に参画したり、活動の成果を地域に還元したりするためには、今後のボラセンが担うべき役割を再構築する必要性を記載する。

② ビジョンの期間

「ビジョン」の期間については、令和6(2024)年度から令和12(2030)年度までの計画期間とし、併せて年度ごとの運用イメージを図・表にて記載する。

③ 社会の変化や動向

「①策定の背景と目的」で示した内容をより掘り下げるとともに、さらに全国の様々な事例を紹介することで、今後のボラセンが担うべき役割を考えるうえで参考になる内容を記載する。

④ これまでの成果と課題

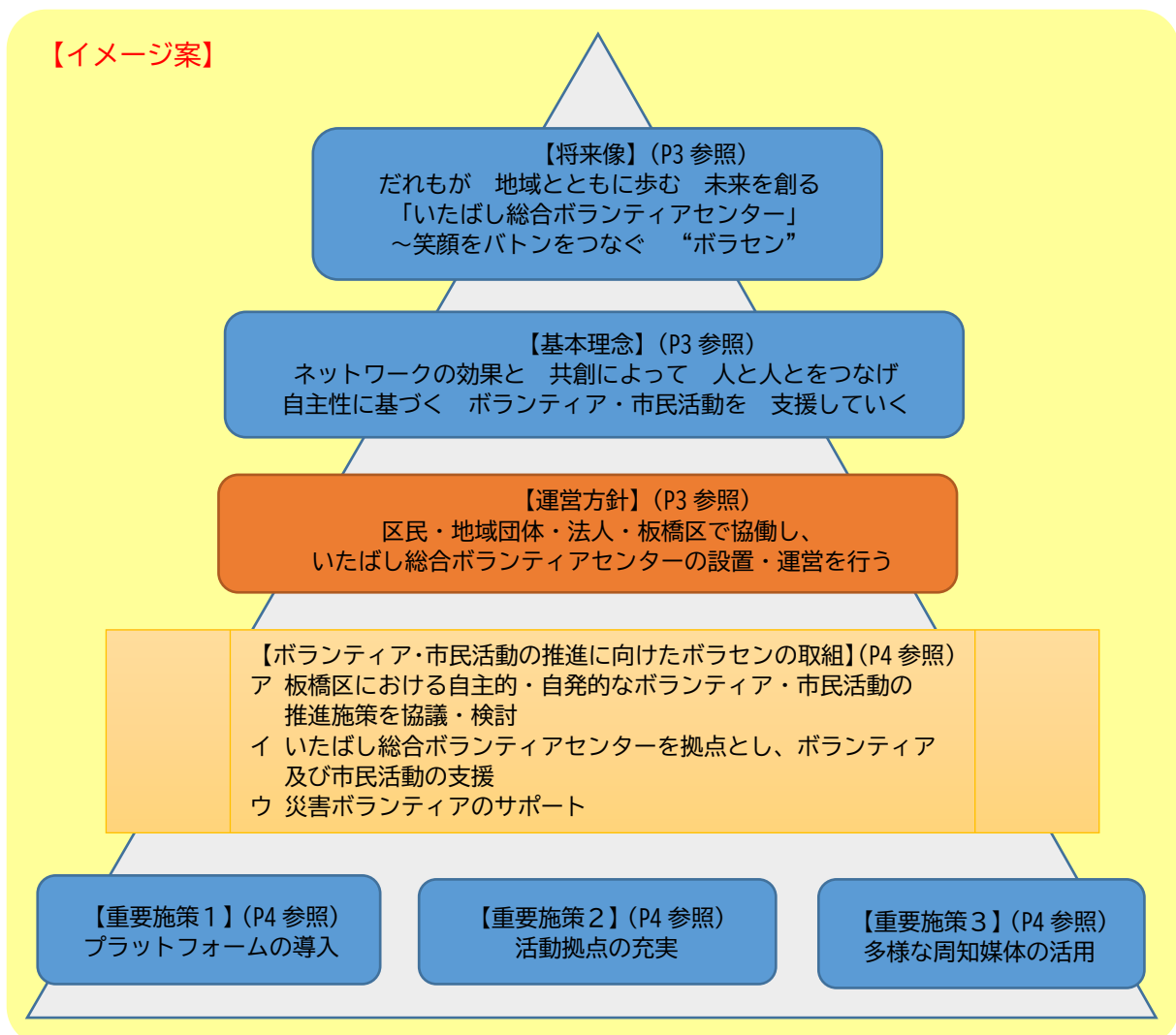
平成 16(2004)年度に策定された基本構想をもとに、平成 18(2006)年度から今に至るまでの運営の経緯や、ボラセンの組織体系、総合ボランティアセンターとしての役割を示しつつ、「中間支援組織」としての機能・取組と、それによる成果（ボラセンの相談件数の増加数からのボランティア活動の需要増加）について記載する。

また、課題については、ボラセンが設置から長年が経過し、より多様的・多角的に活動できることが求められる中で、社会情勢に沿った支援が必要になっていること。さらにボラセンの区民認知度調査(令和 3 (2021)年 7 月)の結果を踏まえ、ボランティア・市民活動の活性化に資するセンターの認知度の向上策等を「活動団体」「区民」双方の視点からの整理の必要性になっているなど解決すべき点を記載する。

(2) 第 2 章 ビジョンの基本的な考え方

① ビジョンの体系と位置付け

将来像・基本理念・運営方針等を「図」で繋げ（ビジュアル化し）関係性を分かりやすく記載する。



▼協議会確認済項目▼

② 将来像 <将来こうあるべきとしてめざす理想像>

だれもが 地域とともに歩む 未来を創る
「いたばし総合ボランティアセンター」
～ 笑顔でバトンをつなぐ“ボラセン”～

ボランティア・市民活動が有意義に行われるためには、より多くの区民がボランティア・市民活動に参画したり、様々な地域課題に取り組んだり、活動が持続的になるように、ボラセンが担うべき役割、あるべき姿を明確に示す必要がある。

そのため、これからの区内におけるボランティア・市民活動を担う実施主体が、誰ひとり取り残されることなく、活動の多様性を認め合いながら協働し、地域課題の解決に向けて活動できる環境の整備を図るため上記の将来像を設定した。

世代を問わず多様な主体が、地域が抱える課題に取り組みながら、支援し合える関係性を構築し、次世代へと繋いでいくための活動をボラセンが下支えしていく。

▼協議会確認済項目▼

③ 基本理念 <将来像を実現するための考えを文章化したもの>

ネットワークの強化と 共創によって 人と人をつなげ、
自主性に基づく ボランティア・市民活動を 支援していく

将来像を実現するために、ボラセンが、区内のボランティア・市民活動のすそ野を広げていくため、どのように支援していく必要があるのかを上記のように明示した。

このように、ボラセンは、人と人・人と資源等のつながりを強化していきながら、地域の多様な人たちが未来を創るために何かを生み出す活動を行える環境を整備し、自主性に基づいて多様な活動を行う人たちが、世代を問わず関係性を構築していけるように支援していく。

▼協議会確認済項目▼

④ 運営方針

設置・運営については、以下のとおり方針を定めた。

区民・地域団体・法人・板橋区で協働し、
いたばし総合ボランティアセンターの設置・運営を行う

上記については例示であり、板橋区でのボランティア・市民活動に関わる人々による協働を表わしている。

この方針に基づいて、中間支援組織である「いたばし総合ボランティアセンター」としての運営を行っていくために以下を進めていく。

- (ア) 区民や、地域団体・法人の中から公募等により委員を募り、ボラセンの運営上の方向性を定める会議体を実施する
- (イ) 会議体で決まった方向性を実現できる力を持った法人が、ボラセンの事務局を担う。
- (ウ) 会議体・事務局が中心となり、区内での活動が円滑に行われるよう、ボランティア・市民活動を取り巻く法改正等の情勢に合わせた支援体制を構築する。

板橋区でのボランティア・市民活動に関わる人々を SDGs 等の視点から多様な活動主体が参画し協働している安定的で機能的なボラセン運営になるよう、主体の役割を明確に定義づけていく。

<各主体に期待する役割>

各主体	役 割
区 民	ボランティア・市民活動等を通じ、ボラセンの事業展開に参画する
地 域 団 体	団体活動を通じて、区内の活動が活性化するようボラセンの運営や、ボランティア・市民活動の活性化の検討等に参加する
法 人	ボラセンの事務局運営をはじめ、法人格を取得しているからこそその視点で、ボラセン運営及び区内の活動を活性化する取組に関わる
板 橋 区	活動場所の提供や規定の整備、会議等の開催など環境整備に努める。

(3) 第3章 今後の方向性について

① ボラセンの取組について

以下の3つの取組について記載する。

- ㊶板橋区における自主的・自発的なボランティア・市民活動の推進施策を協議・検討
- ㊷いたばし総合ボランティアセンターを拠点とし、ボランティア及び市民活動の支援
- ㊸災害ボランティアのサポート

② 重点施策1：プラットフォームの導入

プラットフォームの導入イメージを「図」で説明

プラットフォームの運営方法、事業構成、運用することで期待される効果、運用イメージの実例を記載する。

③ 重点施策2：活動拠点の充実

活動拠点（ブランチ）のあり方を、本部施設といったハード面からだけではなく、システムやオンライン利用による仕組化等、情報やソフト面からの取組について記載する。

④ 重点施策3：多様な周知媒体の活用

デジタル・紙等・その他の方法を含めたボラセンの認知度向上や各主体間のマッチングのための周知方法について記載する。

⑤ 地域との連携・協働について

ボランティア活動の地域組織との連携・協働の重要性とその方法について記載する。
(例えば、災害時のボランティア活動のアプローチを町会やボランティア団体、NPO 等で考えていくことで災害に強い体制を築いていく。)

⑥ 学校との連携・協働について

ボランティア活動の学校や家庭との連携・協働の重要性とその方法について記載する。
ボランティア活動による子ども達の社会貢献の意識の醸成等の教育的意義や区内大学の学生がボラセン運営への参画(運営委員として)等の具体例を記載する。

⑦ 進行管理について

「ビジョン」の期間について、ビジョン実施の令和 6(2024)年度から令和 12(2030)年度までの進行管理(評価測定)について記載する。

計画期間の年度ごとに、何が必要となるか PDCA サイクルをもとに、評価測定の具体例として、タウンモニター・e モニターアンケートによるボラセンやプラットフォームの認知度調査、ボラセンの相談件数やプラットフォームに乗ってくる団体数の増減等について記載する。

⑧ その他について

素案作成時に、新たに議題となった取組や記載する必要性が生じた事項を記載する。

((資料編 (参考資料)))

○ボランティアセンターのあゆみや策定経過、関連の条例、要綱、基本構想などの資料を記載する。

2 今後のスケジュール(予定)

月日	会議名	備考
6月9日(金)	第 5 回ボランティア活動推進協議会 専門部会	ビジョン(素案)検討
7月6日(木)	第 6 回ボランティア活動推進協議会 専門部会	ビジョン(素案)作成/中間報告書
8月8日(火)	第 6 回ボランティア活動推進協議会	ビジョン(素案)確認・部会下命
9月	区議会(区民環境委員会)	ビジョン(素案)報告
9月	パブリックコメント募集	ビジョン(素案)
11月7日(火)	第 7 回ボランティア活動推進協議会 専門部会	ビジョン(案)検討/最終報告書
12月	区議会(区民環境委員会)	ビジョン(案)報告
12月19日(火)	第 7 回ボランティア活動推進協議会	ビジョン(案)確認・決定
3月	冊子作成・公開(HP、広報)	